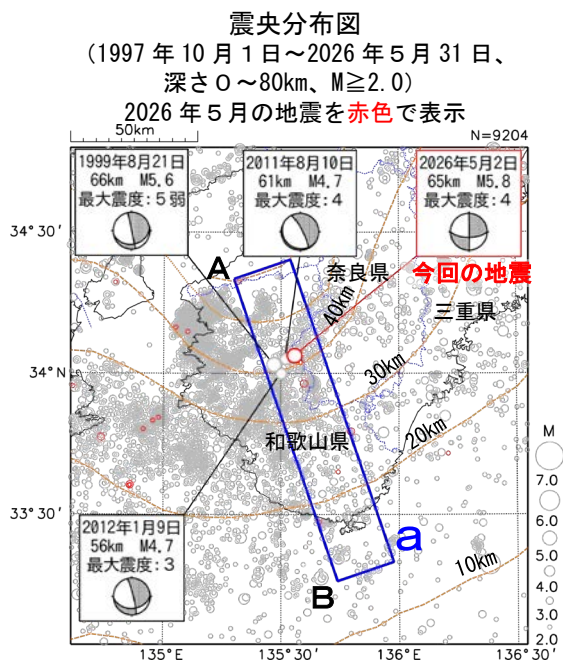
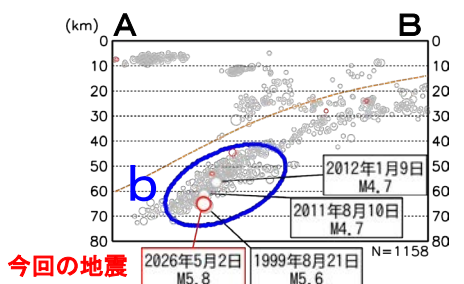


## 5月2日 和歌山県南部の地震

情報発表に用いた震央地名は〔奈良県〕である。

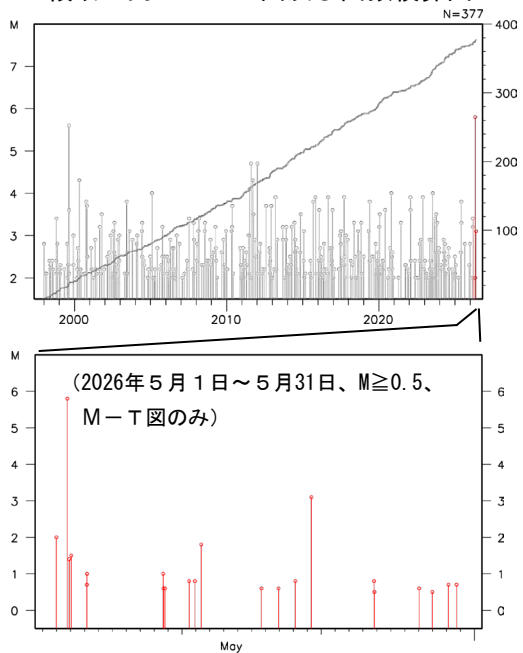


領域a内の断面図（A-B投影）



今回の地震  
 橙色の破線は、Baba et al. (2002)、Hirose et al. (2008)、Nakajima and Hasegawa (2007)によるフィリピン海プレート上面のおおよその深さを示す。

領域b内のM-T図及び回数積算図

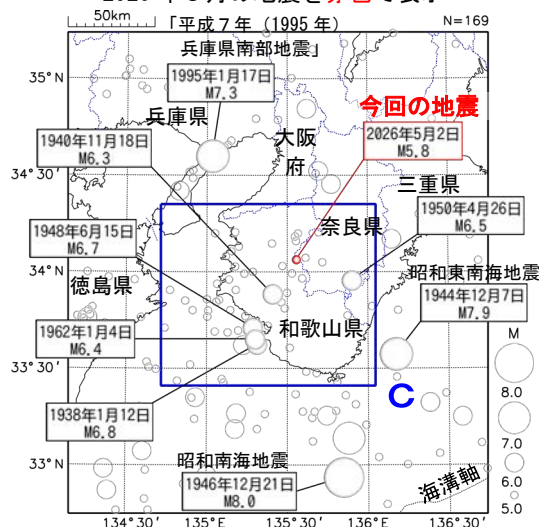


2026年5月2日18時28分に和歌山県南部の深さ65kmでM5.8の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。発震機構は、北東-南西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M4.0以上の地震が時々発生しており、M5.0以上の地震は今回を含めて2回発生している。1999年8月21日のM5.6の地震では、最大震度5弱を観測した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、1960年代にかけてM6.0以上の地震が時々発生していた。このうち、1948年6月15日に発生したM6.7の地震では、死者2人、負傷者33人、家屋倒壊60棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

**震央分布図**  
(1919年1月1日～2026年5月31日、  
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$ )  
2026年5月の地震を赤色で表示



領域c内のM-T図

